

統合の背景

■ 仙台赤十字病院と宮城県立がんセンターの概要

	〔仙台赤十字病院〕	〔宮城県立がんセンター〕
所在地	仙台市太白区八木山本町二丁目43番3	名取市愛島塩手字野田山47番地の1
病床数	389床（稼働302床）	383床（稼働333床）
診療科	23科（標榜）	26科（標榜）

■ 経緯

- ・平成31年（2019年）、「県立がんセンターのあり方検討会議」が設置。
- ・令和元年（2019年）12月「宮城県立がんセンターの今後のあり方に関する報告書」
- ・令和2年（2020年）、仙台赤十字病院、東北労災病院、宮城県立がんセンターの3病院の連携・統合に係る検討を開始することとして日本赤十字社、独立行政法人労働者健康安全機構、地方独立行政法人宮城県立病院機構、東北大学、宮城県の5者で合意。
- ・令和3年（2021年）9月、宮城県が「政策医療の課題解決に向けた県立病院等の今後の方向性について」を公表。仙台赤十字病院を含めた4病院再編の方針を示す。その中で、日本赤十字社と宮城県との間において、周産期医療及び救急医療、災害医療、新興感染症対策を強化し、がんを総合的に診療できる拠点病院を整備することとし、具体的には仙台赤十字病院と宮城県立がんセンターを統合し、新たな拠点病院を整備することについて協議を開始。
- ・令和5年（2023年）12月、宮城県・地方独立行政法人宮城県立病院機構・日本赤十字社の3者による基本合意を締結。

事業方針

■ 運営形態 新病院の設置および運営は日本赤十字社

■ コンセプト

- ・救急車をすぐに受け入れる病院
名取地域に救急搬送受け入れ病院を整備し、断らずに済む救急医療体制を整える。
- ・安心・安全な出産ができる病院
県南地域の正常分娩対応に加えて、母体の救命救急への対応、ハイリスク妊娠・分娩に対する医療、高度な新生児医療等を担う。
- ・最適ながん医療を提供する病院
一人一人のがん患者のニーズに応じて、臓器横断的かつ全人的な質の高いがん医療を至適に提供する。
- ・赤十字らしい病院
「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という理念に基づき、他の医療機関と機能分化・連携しながら公的医療機関として地域医療を支え、災害発生時には病院機能を維持しつつ傷病者の受け入れや医療救護班の派遣を行う。

■ スケジュール 開院は令和12年度（2030年度）中を目途

■ 事業費 300億円

予定地

■ 建設予定地

名取市植松入生 47,781.15㎡ 名取市からの無償貸与（予定）

名取市は仙台医療圏の南部に位置し、岩沼市及び亶理町、山元町とともに名取地域を構成しているが、仙台医療圏の救急医療、周産期医療、災害医療などの政策医療に関わる機能については仙台市内に集中し、名取地域は手薄な状況となっている。

そのような中で、名取市から新病院の整備地として、名取市植松入生の土地を無償貸与する提案があり、医療需要や交通アクセス、政策医療の課題解決につながるかなどを総合的に勘案した結果、当該地を建設予定地とすることとした。



（地理院地図電子国土webを加工して作成）

基本機能

※ いずれも現時点での想定

■ 医療機能

- ・救急医療 … 救急告示医療機関
- ・周産期医療 … 総合周産期母子医療センター
- ・がん医療 … 地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院
- ・災害医療 … 地域災害拠点病院、DMAT指定医療機関
- ・新興感染症対応 … 協定指定医療機関
- ・地域医療 … 地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関
- ・人材育成 … 臨床研修指定病院
- ・その他

■ 診療科 標榜診療科35科

■ 病床規模 400床程度
（内訳） 一般、母体・胎児集中治療室（MFICU）、新生児集中治療室（NICU）、新生児治療回復室（GCU）、集中治療室（ICU）／高度治療室（HCU）

■ 職員数 850名程度

■ 建物規模の想定 延べ床面積は28,800㎡と想定